

SPARC Japan セミナー2024

「オープンアクセス義務化の先にあるもの: 来るべき世界に向けて

開会挨拶 / 概要説明

林 賢紀

(国際農林水産業研究センター)



林 賢紀

2024年度SPARC Japanセミナー企画ワーキングメンバー。国立研究開発法人国際農林水産業研究センター情報広報室広報資料科情報高度利用専門職。2021年4月より現職。博士（情報学）。図書館や公式Webサイトの運営管理、データベースの構築支援など、研究情報の収集及び発信やオープンサイエンスに携わっている。



本セミナーの目的

本セミナーのテーマは、「オープンアクセス義務化の先にあるもの: 来るべき世界に向けて」です。研究者が自らの研究成果を自由に、かつ広く公開・共有し、国民が広くその知的資産にアクセスできる環境を構築するための学術論文等の即時オープンアクセス（OA）化が目前に迫っています。その実現によって、未来はどのような世界になるのでしょうか。研究者は、そして市民は、これらの知的資産をどのように利用できるのでしょうか。分野によっては、既に研究データや論文はオープンなもので、OAを前提として研究が進められています。政策に則って研究成果をオープンにするだけでなく、それがどのように使われるのかを検討し、OA義務化に対応し、その先の未来へつなげていくべきではないでしょうか。

本セミナーでは、オープンサイエンスの先にある世界はどのようなものなのか、また、研究成果はどのように利用され得るのか、研究者や図書館等による先進事例や構想を基に2030年の未来像を展望し、実現に向けた今後の取り組みを検討したいと考えています。

OAはなぜ必要なのか、どのように進めるべきなのか。また、オープンサイエンスはこれまでどんな分野でどのように取り組まれてきたのか、それが進むとどのような研究ができるのか。学術情報流通の今後と併せて、講師の皆さまからさまざまな視点でお話を頂戴し、検討したいと思います。

本日のプログラム

本日は、前半に9名の講師からご講演を頂き、後半に講師の皆さまによるパネルディスカッションを行います。視聴者の皆さまからのご質問・ご意見をお待ちしております。よろしくお願いいたします。